

開催のご挨拶

小江戸、川越によろこそ。

The Fetus as a Patient 国際大会が松江で開催された1987年から、すでに四半世紀になろうとしています。また、1993年に富士吉田で開催されたThe Fetus as a Patient 国際大会で採択されたThe Fetus as a Patient '93 宣言

「将来の人類となるべき胎児は、医療の対象、患者として扱われるべきである。

医師、医療に携わる人々、及び社会は、患者である胎児に対して、適正な診断と治療を提供する真摯な義務を有する。」

から17年が経ち、本学会の前身である胎児治療研究会が立ち上がってからも7年が経過しました。しかし、胎児治療は、まだまだ認知度が低く発展途上にあると考えられます。

この度、第8回日本胎児治療学会学術集会を開催させていただく機会が与えられ、演題を募集させていただいたところ、「うまくいった胎児治療」だけでなく、昨年同様「うまくいかなかった胎児治療」、さらに「胎児治療中・治療後のトラブルを乗り切った症例」、「胎児治療した児の中・長期予後」、将来の進歩のための「胎児治療のための革新技术」など多くの応募をいただき感謝申し上げます。

今回は公募による国内の胎児治療に関する一般演題だけでなく、世界の胎児治療にも目を向けたと考え、「特別企画：国際学会報告—海外の胎児治療—」というセッションを設けました。この中で、今年7月に開催されたIPDS (International Society for Prenatal Diagnosis)と9月に開催されたIFMSS (International Fetal Medicine and Surgery Society)の2つの国際大会で発表された胎児治療に関する情報を皆様で共有したいと思います。さらに、やや停滞気味の感があるわが国の胎児治療を今後どう押し進めていけばよいのか、皆様で知恵を出し合うために、プログラムの最後に「討論：どうするこれからの胎児治療」というセッションを設けましたので、最後までご参加いただき討論に加わっていただきますようお願いいたします。また、ランチョンセミナーでは、工学系の立場から胎児外科治療機器開発のお話をさせていただくことになっています。

本学術集会が、胎児治療の適切な進歩発展に結びつき、適切な胎児治療の機会と恩恵がより多くの胎児に届きますよう祈ります。

会場となる川越は、NHKの朝の連続テレビ小説「つばさ」の舞台となった「小江戸」と呼ばれる蔵造りが残る観光地です。学術集会後には街中を散策されることをお勧めいたします。

第8回日本胎児治療学会

会長 馬場 一憲

埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター

母体・胎児部門 教授

プログラム

11月12日 (金)

13:30～13:35 開会の挨拶

13:35～14:35 一般演題 1 : MD双胎 (TTTS・Selective IUGR・TRAP sequence)

座長：村越 毅 (聖隷浜松病院周産期科)

1. 双胎間輸血症候群の発症予知に母体体重増加量は有用である
北海道大学産科・周産母子センター 森川 守 他
2. 双胎間輸血症候群における羊水中トロポニンT・BNP濃度の検討
徳山中央病院 中田雅彦 他
3. 双胎間輸血症候群に対する胎児鏡下レーザー手術後の羊膜剥離の検討
国立成育医療研究センター周産期診療部 江川真希子 他
4. Selective IUGR Type Iを合併した一絨毛膜二羊膜双胎の臨床転帰
聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター周産期科 石井桂介 他
5. 胎児治療を行う上で示唆に富む経過を示したTwin reversed arterial perfusion (TRAP) sequence の3例
聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター周産期科 村越 毅 他

14:35～15:23 一般演題 2 : 感染症 (サイトメガロ・トキソプラズマ・パルボ B19)

座長：松田秀雄 (防衛医科大学校産科婦人科)

6. 先天性サイトメガロウイルス感染症の胎内治療の1例
大阪府立母子保健総合医療センター産科 川口晴菜 他
7. 先天性サイトメガロウイルス感染症に対する胎児腹腔内免疫グロブリン投与を行った1例
東北大学大学院医学系研究科胎児医学分野 小澤克典 他
8. 重症先天性トキソプラズマ症に対しアジスロマイシン母体投与による胎児治療を施行した1例
長野県立こども病院総合周産期母子医療センター産科 田丸俊輔 他
9. 胎児パルボ感染による胎児貧血に胎児輸血及びグロブリン治療を行った一例
昭和大学産婦人科 松岡 隆 他

コーヒーブレイク

15:40～16:40 一般演題 3： 心疾患（不整脈・出生前診断）

座長：前野泰樹（久留米大学小児科）

- 1 0. 抗 SSA 抗体による房室ブロックの胎内治療での問題点：早期発見・早期治療につなげるために何が
必要か
久留米大学病院総合周産期母子医療センター新生児部門 廣瀬彰子 他
- 1 1. 胎児心房粗動の 3 例
聖隷浜松病院 周産期母子医療センター周産期科 出原麻里 他
- 1 2. 経胎盤的薬物治療を施行した胎児不整脈症例の検討
国立成育医療研究センター周産期診療部 杉林里佳 他
- 1 3. STIC を用いた胎児超音波遠隔診断システムの胎児心疾患の出生前診断実績
京都府立医科大学大学院女性生涯医科学 藤澤秀年 他
- 1 4. 総肺静脈環流異常(TAPVD)の胎児診断のピットフォール：胎児診断に失敗した自験例を振り返る
神奈川県立こども医療センター新生児科 川瀧元良 他

16:40～17:28 一般演題 4： 横隔膜ヘルニア・仙尾部奇形腫・尿路疾患

座長：田口智章（九州大学小児外科）

- 1 5. 出生前診断された先天性横隔膜ヘルニアの胎児治療の適応に関する検討
九州大学大学院医学研究院小児外科 永田公二 他
- 1 6. 出生前診断された巨大仙尾部奇形腫の検討と今後の治療戦略
九州大学大学院医学研究院小児外科 木下義晶 他
- 1 7. ヒツジ胎仔尿路閉塞モデルにおける胎児手術の至適時期
～閉塞早期の腎・膀胱の組織学的変化から～
聖マリアンナ医科大学小児外科 青葉剛史 他
- 1 8. 出生前診断された重症先天性尿路通過障害の長期予後
大阪府立母子保健総合医療センター泌尿器科 松井 太 他

18:00～20:00 懇親会 会場：ラ・ボア・ラクテ

(学会会場から徒歩 1 分)

11月13日(土)

09:00～09:15 日本胎児治療学会 総会

09:15～10:15 一般演題 5： 胸腔内疾患Ⅰ (CCAM・肺分画症)

座長：左合治彦 (国立成育医療研究センター周産期診療部)

19. 経母体ステロイド投与が奏効しなかった先天性嚢胞性腺腫様奇形の1例
新潟大学歯学総合病院産科婦人科 芹川武大 他
20. 胸腔内嚢胞性疾患に対し胎児治療を行った3症例
埼玉医科大学総合医療センター 角さち恵 他
21. 胎児嚢胞性肺疾患に対する胎児治療の有効性と生後の経過
国立成育医療センター周産期診療部 林 聡 他
22. CCAMⅠ型に対する嚢胞羊水腔シャント術施行後に認めた嚢胞内面上皮の扁平上皮化生についての検討
国立成育医療研究センター病理診断部 松岡健太郎 他
23. 胎児胸腔羊水腔シャント術施行し良好な経過をたどった胎児肺分画症の1例
広島市立広島市民病院産科婦人科 小松玲奈 他

コーヒーブレイク

10:30～12:06 一般演題 6： 胸腔内疾患Ⅱ (胸水・その他)

座長：千葉喜英 (Women's Clinic 千葉産婦人科)

24. 重症胎児胸水に対する胸腔羊水腔シャント術の治療効果と安全性に関する臨床使用確認試験
国立病院機構長良医療センター 高橋雄一郎 他
25. 「重症胎児胸水に対する胸腔羊水腔シャント術の臨床確認試験」の当院における経験
山口大学病院周産母子センター 住江正大 他
26. 胸腔羊水腔シャント術後に胸腔中に偽嚢胞が出現した乳糜胸水症例
埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 成田達哉 他
27. 胸腔内に迷入した胸腔羊水腔シャント用ダブルバスケットカテーテルの胸腔鏡補助下摘出術
埼玉医科大学総合医療センター肝胆膵外科・小児外科 井上成一郎 他
28. 胎児『白血病細胞』は正常か
防衛医科大学校病院産科婦人科 浅井一彦 他

29. 胸腔羊水腔シャントの適応に悩んだ胎児胸水の1例

名古屋大学 松村寛子 他

30. 当センターにおける胎児胸水症例の予後規定因子の検討

国立成育医療センター周産期診療部 小川浩平 他

31. 胎児期に胸水・腹水・嚢胞に対して胎児治療を施行した症例の短期・長期予後の検討

埼玉医科大学総合医療センター新生児科 國方徹也 他

コーヒーブレイク

12:15～13:00 ランチョンセミナー

座長：千葉敏雄（国立成育医療研究センター臨床研究センター）

未来につなげる胎児外科治療機器開発 ～医工連携におけるものづくり～

国立成育医療研究センター臨床研究センター 山下紘正

13:00～14:00 一般演題 7： 甲状腺・工学系新技術・用語

座長：名取道也（国立成育医療研究センター研究所）

32. 胎児治療を行った胎児甲状腺腫の1例

北里大学病院総合周産期母子医療センター 金井雄二 他

33. 臍帯穿刺における胎児心電図による連続モニタリング

防衛医科大学校病院産婦人科 川嶋章弘 他

34. 位相差トラッキングエコー法による、胎児胸水症治療前後での循環動態変動の観察

宮城県立こども病院産科 宮下 進 他

35. 胎児外科手術における超音波撮像データの3D画像立体表示システムの開発

東京大学大学院 チャン フィーホワン 他

36. 胎児治療における有害事象共通用語規準使用に関する提案

長良医療センター 高橋雄一郎 他

コーヒーブレイク

14:10～15:10 特別企画：国際学会報告 ―海外の胎児治療―

座長：種村光代（産科婦人科種村ウィメンズクリニック）

1. 胎児心疾患に対するインターベンション ―ISPD 2010 報告―

宮城県立こども病院産科 室月 淳

2. 胎児治療の臨床と次世代胎児治療のための基礎研究 —IFMSS 2010 報告—
埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 馬場一憲

15:10～15:55 討論：どうするこれからの胎児治療

座長：佐藤昌司（大分県立病院産科）

1. 指定発言
2. 指定発言
3. 指定発言
4. 指定発言
5. 指定発言

全 体 討 論

15:55～16:00 閉会の挨拶